

# 副読本を活用した授業実践 「家庭で防災を考える」

## 1 日時

事前指導 7月20日(水)6校時  
事後指導 8月24日(水)3校時

## 2 対象

全校生徒およびその家族

## 3 ねらい

- (1) 家族で防災に関わる取組の機会を持ち、家庭での自助の力を高める。
- (2) 学校で、各家庭での防災の取組についての情報を共有し、様々な取組を知ることにより、より良い家庭での防災につなげていこうとする気持ちを高める。
- (3) 防災副読本を利用して、より具体的な例を挙げて防災への意識を向上させる。

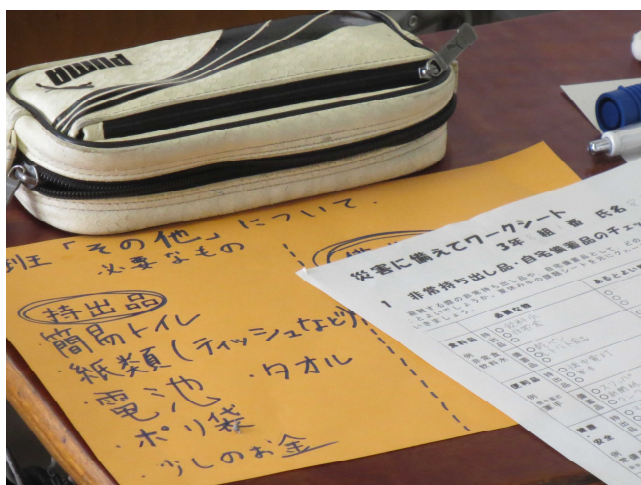


## 4 内容

- (1) 各学年の取組
  - ① 1学年 「家にいる時、地震が起きたら」
  - ② 2学年 「外出時に地震が起きたら」
  - ③ 3学年 「災害に備えて」

### (2) 取組方法

- ① 夏休み前に事前学習を行い、夏休みに家族で防災について話し合うことや、その意識付けを行うに当たり、防災副読本を用い各学年毎に共通の取組を行う。
- ② 夏休み中に各家庭で防災についての話し合いを行い、課題のワークシートをまとめる。
- ③ 夏休み明けに、生活班毎に各自発表を行い、それぞれの家庭で考えてきた意見を共有する。その後、防災副読本も使いまとめ学習を行う。

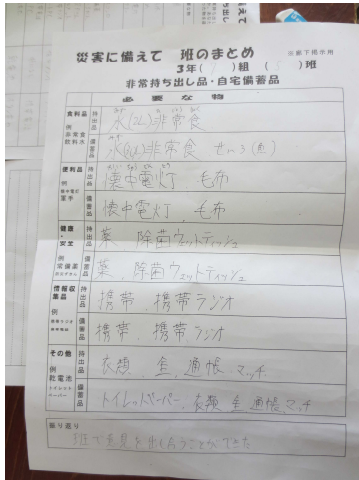




各学年の、学年防災行事担当者が、事前指導、事後指導の略案と補足資料を作り、学年会等で内容を検討した後、当日の授業を展開した。



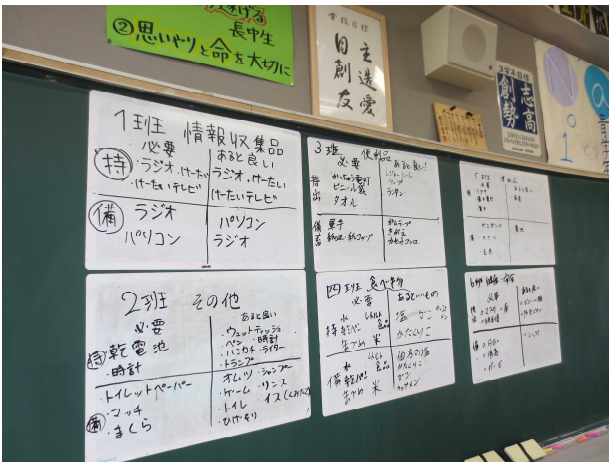
事後指導ではグループ活動を取り入れ、調べてきた内容について意見交流を行った。活発に意見を発表した。



3年生ではグループでのまとめにワークシートを用いた。



グループで話し合ったことを、全体で発表した。1学年は住宅の間取り図を用い、共有した。



2年生ではマグネットシートを用い、班ごとの意見を黒板に添付できるようにした。



3年生の発表の様子。グループの代表生徒が発表した。全員がしっかりと聞き、防災について考えを深めることができた。